

環境事業センター施設見学会 ‘19/7/11

この7月は各自治会の環境指導員向けに施設見学会が催されている。見学のメニューは「環境事業センター」「寒川広域リサイクルセンター」「不法投棄防止パトロール」の3種が用意されている中で、環境指導員として一番身近な「環境事業センター(焼却処理施設と最終処理場の2か所)」を見学した。

まずは市内萩園にある「環境事業センター ごみ焼却処理施設」を見学。ここではパッカー車で運ばれたごみを焼却して最終的に灰にするまでの過程を見ることができる。



環境事業センター



パッカー車を1台ずつ計量



ごみピット。クレーン2基が稼働



灰ピット



焼却の様子は監視室のモニターで見れる



ひと掴みパッカー車2台分、2.7 t。

焼却施設は、焼却炉3基で1基あたり120 t/日の焼却能力がある。現在、ごみは約200 t/日なので余裕。通常は2基を稼働。焼却の熱で蒸気タービン発電機を回しており、施設内の電力はごみがある限り自力で賄える。

焼却施設で出た灰はここ、市内「堤十二天最終処理場」に埋められる。

広大に思えるこの処理場も『令和15年3月末』で一杯になると予測。市内で追加の処理場を設ける場所は無く、



以降は『全ての灰を新たな資源』にする100%資源化をせざるを得ない。これには更にコストがかかる。

最終処理場の長期稼働、100%資源化に対して我々市民がすべきことは『ごみの分別の徹底』である。